

梅雨の湿気対策は換気が基本！簡単に湿度を下げる方法とは？

梅雨の時期は屋外も屋内も湿気でジメジメしていることが多く、気分まで憂鬱になりがちです。換気などの湿気対策を行って、すっきり過ごしたいですね。梅雨の時期に湿気が気になる原因や、今すぐできる湿気対策を紹介します。

□基本は窓を開けて換気◎雨の日だって換気しよう

室内はまめに換気することで、湿度を下げられます。換気をするときは、窓やドアを2カ所以上開けて空気の通り道を作ってあげることが大切です。同時に押入れやシンク下などの普段空気が流れにくい場所も、扉を開けて換気するとよいですよ。また雨の日は、外よりも室内の方が湿度が高くなっていることがあります。外の湿気が室内に入ってこないようにと、換気をしないのは逆効果です。雨の日でも換気するようにしましょう。

□扇風機やサーキュレーターを使えば換気効果がアップ！

換気は2カ所以上を開けて空気の通り道を作るとよいといいましたが、押入れやクローゼットなどの場所で扉が1カ所しかない場合は、扇風機やサーキュレーターを扉を開けたまま、押入れやクローゼットの中に向けて空気を送れば、中の空気が流れて効果的に換気できます。

□除湿器やエアコンの除湿運転（ドライ）機能を使って除湿する

エアコンの除湿（ドライ）機能を使っても、室内の湿度を下げるができます。でも湿度が気になってエアコンの除湿（ドライ）機能を使ったら、寒くなってしまったという経験はありませんか？除湿には弱冷房除湿と再熱除湿の2種類があり、違いは以下の通りです。

- 弱冷房除湿→室内の温度も、湿度も下げる。再熱除湿よりも消費電力が低く、電気代が安い。
- 再熱除湿→室内の温度は下げずに、湿度だけを下げる。弱冷房除湿よりも消費電力が高く、電気代が高い。

※一般的な除湿（ドライ）機能は弱冷房除湿の場合が多く、製品によって再熱除湿機能が付いたエアコンもあります。

梅雨の時期は室内の温度によって、エアコンの弱冷房除湿と再熱除湿を使い分けるとよいでしょう。

次に、靴箱や台所のシンク下、押入れなど、狭い場所でも有効な湿気対策についてご紹介します。

□新聞紙で消臭・除湿

紙類は湿気を吸収する性質があります。中でも新聞紙は表面に細かい凹凸が多く、見た目以上に表面積が広いために湿気の吸収力に有効で消臭効果もあります。台所のシンク下の隙間、押入れの中、家具の後ろなど、湿気が気になる場所に置いておくだけでもよいのですが、一度手でクシャクシャにしてから広げると、さらに表面積が増えてよく湿気を吸い取ってくれます。

□重曹で消臭・除湿

料理や掃除などで利用できる重曹には、消臭・除湿効果があります。重曹は空き瓶などに多めに入れて蓋を開けたまま、靴箱やトイレなど、匂いや湿気が気になる場所に置きましょう。湿気を含んだ空気は下がる性質があるので、入れ物は低い場所に置きます。湿気を吸った重曹が固まってきたら取り替え時です。

□竹炭で消臭・調湿

炭も重曹と同様に、消臭・除湿効果があります。湿気対策におススメなのは竹炭です。効果が薄れてきたら木炭を天日干しするだけで再び利用できるのも、半永久的に使えるエコなアイテムですよ！

防災豆知識

家具の配置を見直しましょう

▶ 就寝位置との関係

家具は前方に倒れてくるので、就寝場所は家具の側方が安全。また、家具や棚の上のモノが落ちてこないかも確認を。



▶ 出入口との関係



▶ 出入口との関係

倒れた家具が出入口を塞いで避難できないということになっては大変。出入口付近に置かない、万が一倒れても通り抜けられる空間を残せる位置に置きましょう。

大

大きな地震が発生すると、その揺れで大型家具が動いたり倒れたりして出入口を塞ぎ、逃げ道を失ってしまいます。また家具の転倒や落下物でケガをする可能性もあります。地震に備えて、自分の行動範囲と家具の配置を見直してみましょう。

▶ 重いものは下の方に

背が高い本棚や洋服タンスなどは、重い物を下に、軽いものを上に入れるだけで重心が下がり倒れにくくなります。

▶ 造り付け収納もおすすめ

散乱しやすい置き家具をできるだけ減らして、クローゼットなどの造り付け収納にすることも対策になります。



季節のお手入れ【6月】

梅雨到来前に屋根や雨樋を点検し、雨漏りを防ぎましょう。

特に押入の中など見えない場所に注意。

除湿とカビ防止をかねて、梅雨の晴れ間は窓や押入を開け、通風と防臭に注意します。



建築用語あれこれ

【地震力(じしんりょく)】地震時に建物に加わる水平力のこと。建物重量の何割かが水平力になります。

【上棟式(じょうとうしき)】棟式は平安時代初期から行なわれている建物の守護神と匠の神を祀って、棟上げまで工事が終了したことに感謝し、無事、建物が完成することを祈願する儀式のこと。

【直張り(じかばり)】板などを張る場合に下張りを設けず、直接下地に張る工法。

【境界線(きょうかいせん)】土地のさかいめの線

光と風を自由自在に調整!通風採光雨戸「こもれび」

施錠したままで、通風・彩光。視線を遮りプライバシーを守ります

通風採光雨戸「こもれび」は、施錠したまま通風・採光が楽しめる雨戸です。ただ風を通すだけでなく、外からの視線を遮り、侵入から守る防犯性も持ち合わせております。通風採光・オーダーメイド・防犯・耐風圧・省エネ・リフォームと様々なシーンでご対応できます。

<こもれびの特長>

■施錠したままで、通風・彩光ができます。視線を遮りプライバシーを守ります。

■3種類の鍵付き(パッチン錠/打掛錠/フランス錠)で外からスラットが外されにくい構造で、高い防犯性を誇ります。

■夏の「通風と遮光」冬の「断熱」2つの効果で省エネ効果が期待できます。「結露」防止にも効果があり、快適な環境を実現致します。

■風圧 40m/s 耐風圧テスト実施済です。サッシだけでは不安な台風、沿岸地域での耐風対策に適しています。

■省スペースで後付できるのため、施工が簡単です。すべての引違いサッシに対応、様々な壁面、旧型雨戸からのリフォームなど状況を問わず設置ができます。

